

令和6年度 入学者選抜

■ 日程

出 願 期 間：令和6年3月4日(月)、3月5日(火)及び3月6日(水)
学 力 検 査：令和6年3月11日(月)
合格者発表：令和6年3月19日(火)

■ 通学区域

大阪府全域

■ 選抜資料

調査書、学力検査の成績及び自己申告書を選抜の資料とする。

<学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ>

学力検査の成績と調査書の評定の比率について
府教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択する。

タイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参 考			
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点	学力検査の成績と調査書の評定の比率
I	1.4 倍	0.6 倍	630 点	270 点	900 点	7 : 3

■ 学力検査等

☐ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語（リスニングを含む）とする。

<問題の種類及び特徴>

種類	特 徴		
	国語	数学	英語
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用(データの活用)」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出題する。

☐ 調査書

- 目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）を平成28年度入学者選抜から導入する。
- 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じる。
- 記載項目は、「各教科の学習の記録」（評定）及び「活動/行動の記録」とする。

☐ 自己申告書

生徒を多面的に評価する観点から、自己申告書を選抜資料とする。毎年、府教育委員会がテーマを提示する。

<アドミッションポリシー（求める生徒像）>

本校は、知・徳・体の調和のとれた人間を育成するとともに、社会に貢献する高い志とチャレンジ精神を持ったグローバルなリーダーを育てることを教育目標に掲げています。豊かな心や三丘スピリット(文武両道、自主自立、切磋琢磨)を育むとともに、夢や志を実現できる確かな学力を身につけさせることにより、国際社会をリードする新しい時代のリーダーを育てる学校をめざしており、本校のめざす学校像を理解し、夢の実現のために努力を惜しまない生徒を望みます。

- 1) 論理的な思考力や考察力、自分の意見を表現する能力を有し、その力を生かして有意義な学校生活を送ろうとする生徒
- 2) 理科や数学に関わる事柄や国際社会で活躍することについて強い興味・関心があり、意欲的に学習する意志のある生徒
- 3) 難関大学や海外の大学への進学を希望し、目標達成のため、学業に最優先で取り組む覚悟のある生徒
- 4) 部活動や学校行事などに積極的に取り組むとともに、学習についても課題意識を持って取り組み、課題克服に向けた努力を惜しまない生徒

■ 選抜方法

総合点を基本に選抜を行う。ただし、ボーダーゾーンを設定し、ボーダーゾーン内の生徒のうち、自己申告書及び調査書の「活動/行動の記録」の記載内容により、高等学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。入学者選抜における英語資格（外部検定）の活用について

平成 29 年度入学者選抜から、学力検査「英語」において、外部機関が認証した英語力判定テスト（TOEFL iBT、IELTS 及び実用英語技能検定（英検）を対象とする。）のスコア等を活用する。詳しくは下記のホームページで確認してください。

入学者選抜については「大阪府教育庁」のホームページに記載されています。
下のリンクをクリックしてください。

大阪府教育庁 教育振興室 高等学校課学事グループ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/>